

○ 第8回 北海道におけるバリアフリー施策の増進に関する地域連絡会議

北海道運輸局では、平成19年度より、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、バリアフリー施策のより一層の推進を図ることを目的に「北海道におけるバリアフリー施策の増進に関する地域連絡会議」を開催しています。



去る3月9日には、全道各地で選任されているバリアフリーリーダー10名、交通関係事業者・団体、関係行政機関等の出席のもと、第8回目となる会議を開催いたしました。北海道運輸局からは、バリアフリー施策の取組状況、全国バリアフリーネットワーク会議の報告、前回会議のフォローアップについて、障がい者差別解消法施行に向けた公共交通機関等のバリアフリー化現状把握のため実施したアンケート調査の事例収集結果について議題とし、各リーダー等から活発な意見をいただきました。

なお、一日目の会議では、島バリアフリーリーダーから「ユニバーサルモニタリング検証事業の企画について」、内藤バリアフリーリーダーからは「就労支援型キッズトライ」について、札幌市交通局からは「乗車マナー教室の開催について」それぞれ取組を、ご説明いただきました。

また、3月10日には「(仮称)バリアフリーツアーデスク設置に向けた取組について」を議題とし北海道経済部観光局から平成27年度に取り組み予定の「バリアフリー観光受入体制整備事業」について説明をいただきました。

これを受けて、各バリアフリーリーダーを中心にユニバーサルツアーの課題と取組の重要性について活発な討論をいただき、行政間や業界間のバリア解消、北海道内のバリアフリーツアーのためのネットワーク構築に期待をいただきました。

北海道運輸局はこれらの実現に向けて、関係者及び関係機関と更なる連携強化を図って参ります。

日時：平成27年3月9日(月)14時～
3月10日(火)12時

場所：北海道運輸局
(札幌第二合同庁舎8階会議室)

議題1日目

- (1) バリアフリー表彰について
- (2) 北海道運輸局におけるバリアフリー施策の取組状況について
- (3) 全国バリアフリーネットワーク会議報告
- (4) 第7回会議のフォローアップについて
- (5) 障害者差別解消法施行に向けた公共交通機関等のバリアフリー化現状把握のための事例収集について
- (6) 意見交換

議題2日目

- (1) バリアフリーツアーデスク設置に向けた取組の概要説明
- (2) 意見交換

会議構成メンバー（順不同、敬称略）（バリアフリーリーダー）

浅野目 祥子	札幌	(NPO法人手と手 常務理事)
鈴木 克典	札幌	(北星学園大学経済学部経営情報学科 教授)
佐藤 尚子	函館	(函館すぷれっと 代表)
島 信一郎	函館	(一般社団法人 函館視覚障害者福祉協議会 理事長)
下間 啓子	旭川	(NPO法人旅とびあ北海道 代表理事)
五十嵐 真幸	旭川	(カムイ大雪バリアフリーツアーセンター センター長)
政田 一美	室蘭	(一般社団法人 室蘭身体障害者福祉協議会 会長)
赤間 諭	釧路	(社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会 在宅福祉サービス支援課 主任)
内藤 憲孝	帯広	(福祉住環境コーディネーター (有)イフ 代表)
茗作 博子	北見	(社会福祉法人 北見市社会福祉協議会 登録ボランティア)